

コミュニティ・ユース・バンク momo

2011 年度事業計画

1. 出資金の募集

10 年度に引き続き、momo のミッションに賛同し、顔の見える関係にある個人・団体からの出資・増資を募っていきます。出資金の募集を「融資先に適切な支援を提供できる人材を巻き込む機会」としてとらえ、“量の拡大”ではなく「質の向上」に努めます。ブース出展時のダイレクトダイアログによる働きかけを強化し、新たな仲間づくりを進めていきます。

11 年度も、出資申込時にいただく「出資者の声」は、【その方らしい写真】とともに Web サイト『出資者の声』（<http://www.momobank.net/voice/>）に随時掲載していきます。（メッセージや写真が未掲載の正会員の方がいらっしゃいましたら、info@momobank.net までお送りいただけますと大変助かります。）

また、正会員のみならず周囲の方への働きかけも大歓迎です。「出資のてびき」（出資に関するパンフレット）等、当団体のパンフレットやチラシの配布にご協力いただける方は、必要部数、配布場所、送付先を明記の上、info@momobank.net までご相談ください。

2. 正会員への融資

(1) 融資の募集

つなぎ融資（補助金などが交付されるまでの資金のつなぎ）は随時、一般融資（起業資金や設備資金等への融資）は半年に一度、受付期間を区切って募集を行います。11 年度の一般融資申し込みの受付開始は、11 年 6 月と 12 月を予定しています。

また、11 年度は事業だけでなく、個人ローンの募集も検討します。太陽光パネルの設置やペレットストーブの導入など、省エネ・自然エネルギー設備の購入資金を応援できないかと考えています。

(2) 「融資無料相談」「面談（一次審査）前のハンズオン支援」の実施

10 年度に引き続き、毎月 23 日に「融資無料相談」を開設（時間帯は各月によって異なる）し、融資希望者とともに融資の可能性を探ります。また、書類審査を通過した融資申込先に対しては、各担当理事がハンズオン支援を実施します。

(3) 融資審査委員会の開催

11 年度も引き続き、融資申込案件は理事のほか、NPO/NGO やコミュニティビジネス、金融のエキスパートである顧問とともに、融資審査委員会で審議し、理事会で融資実施の可否を決定します（ただし、つなぎ融資の場合は原則、理事会のみで審議・決定します）。

11 年度の顧問は以下の通りです（敬称略）。各顧問には、起業資金等に対する融資を審査する面談（一次審査）にはできる限り同席いただくようお願いしています。

- ・奥田裕之（NPO 法人まちぼっと 事務局スタッフ）
- ・原美智子（NPO 法人ぎふ NPO センター 事務局長）
- ・鈴木久司（東海労働金庫 常務理事）
- ・村田元夫（株式会社ピー・エス・サポート 代表取締役）

(4) 融資の実施

借り手の資金ニーズの把握に努め、出資総額の 70% を上限に融資を行います。貸し倒れ等のリスク対策として、10 年度に引き続いて貸付金利息を損失準備金として積み立て、理事の出資金（11 年 6 月末で 240 万円）を劣後出資として設定し、当面の貸し倒れに備えます。

10 年度より引き続き、正会員のみならずからの出資金を地域の中で生かすために、規模ではなく「機能」の充実を目指します。

3. 啓発・広報及び情報の提供

(1) メーリングリストの活用

出資や融資などの当団体の活動を随時お知らせするために、会員メーリングリスト（momo-members@yahoogroups.jp）を積極的に活用します。引き続き「momo レポート」を月 1 回配信するほか、会員間の情報交換、融資先や審査に関する情報などもお届けします。

また、イベント情報等を会員に PR したい方は、交流メーリングリスト（momo-koryu@yahoogroups.jp）をご活用ください。

(2) Web サイトの充実

当団体の考えや取り組み、関わる人たちを広く伝えていくために、10 年度より引き続き Web サイトを活用します。また、momo レンジャーの日々の活動は、引き続きブログや mixi、ツイッター、Facebook などでも報告し、当団体の動きが随時わかるよう努めていきます。

(3) ニュースレター「momo 通信」の発行

引き続き、年 4 回（vol.21 から A5 判／16 ページ／モノクロを予定）発行します。11 年度は融資を受ける事業者に焦点を当て、各融資先が形成するコミュニティやソーシャルファイナンス（社会的金融）をテーマに、momo が取り組む「お金によって切れたつながりを、お金を通してもう一度つなぐ」試みを誌面上で展開します。「momo のファンになろう」を合言葉に、Web サイト等で紹介されている内容にとどまらない情報を、会員のみなさまにお届けします。

また、11 年度末の情報会員数は、正会員数の 4 割を目指します。

(4) イベントの開催・出展

11 年度も momo レンジャーの自発的な参画により、以下の開催を予定しています。

- 会員交流会「momo bar」「momo cafe」：当団体に関わる人たちが集い、語り合います。
- 感謝祭：当団体の融資先にブースを出展いただき、出資者や momo に関心のある方に気軽に立ち寄っていただける場をともにつくります。
- ソーシャルファイナンス研究会（SF 研）：ソーシャルファイナンスに関する国内外の事例を学び、資金の借り手（事業者）・貸し手（金融機関）・出し手（市民）が対話する場をつくります。
- バーチャル融資審査委員会：当団体の審査委員になりきって、融資申込者との面談や他の委員とのディスカッションを通して、融資の可否を決定します。
- ブース出展：来場者が多数集まる屋内外の各イベントにブースを出展し、直接対話で出資を募る「ダイレクトダイアログ」等を実施します。
- プロセスマネージャー養成塾：事業者が事業を通して社会課題の解決にチャレンジし続けるために、事業者の課題を適切に把握し、問題解決の糸口をともに考えられる「プロセスマネージャー」を、実践や研修を通して育成します。
- momo トレ：地域づくりを応援する上で必要な能力を磨くスキルアップ講座を開催します。
- 融資先訪問ツアー：会員とともに融資先を訪ね、自分たちのお金が地域で回り、地域に活かされていることを実感してもらいます。

4. 正会員に対する人材、情報提供等の支援及びコンサルティング業務

11 年度も融資実施後の経過を把握するために、融資先の活動に適宜参加したり、「ソーシャルファイナンス研究会」「momo bar」「momo cafe」「融資先訪問ツアー」等の開催を通して、ともに学び合う関係を築いていきます。また、返済期日を厳守いただくためにも継続して連絡を取り合っていきます。

また、11 年度からはボランティアスタッフ「momo レンジャー」たちが、融資先のニーズに合わせてチームをつくり、融資先支援に取り組みます。今年度は、35 名以上の momo レンジャーが 7 つのチームに分かれて活動します。

【11年度チーム体制】

● 「NPO 法人志民連いちのみや」 チーム



<担当理事> 田口裕晃 (たぐち・ひろあき)
<リーダー> 藤岡博孝 (ふじおか・ひろたか) 【写真】
<活動内容>

志民連いちのみやが運営するコミュニティカフェ「三八屋」を応援しています。また、一宮のまちづくりをしている志民連いちのみやを、momoレンジャーらしいやり方で手伝っていこうと作戦を立て、随時アクションを起こして行く予定です。

● 「NPO 法人ふれ愛名古屋」 チーム



<担当理事> 戸上昭司 (とがみ・しょうじ)
<リーダー> 菅沼あずみ (すがぬま・あずみ) 【写真】
<活動内容>

ふれ愛名古屋を知ることが第1歩。子どもたちやスタッフとの交流の中からmomoレンジャーにできることが誕生します。ふれ愛名古屋に関わる人びとが顔の見える関係を築けるようなイベントの企画、また情報発信を行っています。

● 「GOEN 農場」 チーム



<担当理事> 坂本竜児 (さかもと・りゅうじ)
<リーダー> 吉田慎一 (よしだ・しんいち) 【写真】
<活動内容>

定期的とまでもいきませんが、GOEN農場さんの里、白川町に出資者の方やレンジャーと一緒におじゃましています。GOEN農場の認知度UPにともない今後はいろんなひととの繋がりや訪問者の対応など微力ながらお手伝いをしていきたいと思っております。

● 「凡設計」 チーム



<担当理事> 上原悦子 (うえはら・えつこ)
<リーダー> 崎大樹 (さき・たいじゅ) 【写真】
<活動内容>

主に凡設計さんのブランドでもある「スローママ」の講座「スローファミリーラボ」の運営をお手伝いしてきました。チームには女性だけでなく、男性も多く、みんな子ども好きなのが特徴です。スローファミリーラボは5月の講座で加子母の森ツアーを実施し、6月12日の講座をもって全6回の講座を終えました。凡設計さんは7月25日でmomoの融資を完済する予定です。

● 「合同会社 yaotomi」 チーム



<担当理事> 加藤篤博 (かとう・あつひろ)
<リーダー> 川合貴之 (かわい・たかゆき) 【写真】
<活動内容>

男性7名、女性3名で活動中。主な活動は月に1~2回のミーティングと、イベントの企画、広報活動等のお手伝い。ミーティングにはyaotomiの犬飼さんに参加していただくことも多く、犬飼さんのリアルな声を聞きながら、「一緒に考え、一緒にトライ」しています。

●「メディア」チーム



<担当理事> 岩附あずさ（いわつき・あずさ）

<リーダー> 加藤祥子（かとう・しょうこ）【写真・左】
藤岡博孝（ふじおか・ひろたか）【写真・右】

<活動内容>

momoの情報や融資先の状況を発信しています。方法はさまざま。momoのニューズレター「momo通信」やメールでの「momoレポート」、Webサイト上では、ブログやツイッター、mixiなどの更新を担当しています。

「顔の見える関係」を大切にしつつ、出資者だけでなくmomoのことを知らない方にも、わかりやすくお伝えすることをモットーとしています。

●「エンパワー」チーム



<担当理事> 長谷川友紀（はせがわ・ゆき）

<リーダー> 蒲池卓巳（がまいけ・たくみ）【写真】

<活動内容>

レンジャー募集説明会の開催や新人レンジャーのケア、そして各チーム同士の連携を深める役割を主に担っています。

momoレンジャーが気持ちよく、いきいきと活動が出来るような仕組み作りをしています。

5. 地域経済や民間非営利活動に関する調査、研究

(1) 相互支援コミュニティ形成事業【助成：あいちモリコロ基金】

11年4月からスタートした本事業に11年度も取り組んでいきます。

1. 5～10年後のこの地域のNPOを担っていく世代の相互支援コミュニティづくり
2. コミュニティの自律的発展を促すツールについての事例収集・導入計画の作成
3. コミュニティのNPOに共通する運営上の課題についての研究会の開催

以上3つの活動を通して、今後、相互支援コミュニティが東海地域にいくつも形成され、地域のNPOが持続的に活動していける状態を目指します。

(2) NPOバンクによる被災地での仕事づくり促進事業【補助：国土交通省・平成23年度「新しい公共」の担い手による地域づくり活動環境整備に関する実証調査事業（第1回）】

東日本大震災の被災地における雇用を創出するために、すでに現地での支援に取り組むNPO法人「レスキューストックヤード」と協働で、「新しい公共」の担い手に対する資金的・非資金的支援の可能性を模索します。また、被災地支援に取り組む団体の多様な収入源を確保するために、当団体のステークホルダーを巻き込んだハンズオン支援を実施します。

(3) 地域内“志金”循環（お金の地産地消）促進事業

NPO等の活動基盤を整備するために、寄付や融資の増進をサポートし、地域内“志金”循環（お金の地産地消）を促進します。資金の受け手（NPO等）に対する研修のほか、資金の生かし手（助成・金融機関、中間支援組織等）との研究会、資金の出し手（市民）に対する啓発活動を通して、その担い手として育むことを目指します。

(4) 実行委員会や会議等への派遣

- 11年度、木村代表理事を委員等として派遣する予定の実行委員会、会議等は以下の通りです。
- ・公益信託ぎふNPOはつらつファンド 運営委員
 - ・全国NPOバンク連絡会 理事
 - ・名古屋市社会福祉協議会・名古屋市主催「地域福祉リーディングモデル事業」選考委員会委員
 - ・リコー中部株式会社 グリーンプロモーション エコひいき 2011 2次外部審査会 選考委員

(5) ヒアリング調査等への対応

11年度も引き続き、ヒアリング調査等のお申し出にもできる限り対応します。

6. その他の事業

(1) 各地のNPOバンクとの連携

11年度も各地のNPOバンクや全国NPOバンク連絡会と協力し、特にNPOバンク法(仮称)の制定、NPOバンクと地域金融機関の協働に関する対話の場には、積極的に参加していきます。

(2) 企業・行政・NPOからの委託・協働事業の実施

●東海若手起業塾

11年度も引き続き、実行委員として参画し、東海地域を活性化するために自らの事業を本格的な成長軌道に乗せたいという情熱を持った若手起業家を支援していきます。

●とよた中山間じおこし隊

11年度も引き続き、当団体は、事業者・新規雇用者が互いに学び合うための、各種研修プログラムや戦略会議を企画・運営します。

●美し国おこし・三重

「美し国おこし・三重」は、「『文化力』を生かした自立・持続可能な地域づくり」を目指す取り組みです。地域の多様な主体が、特色ある自然や歴史、文化などを活用して取り組む地域づくりを基本に、09年から14年までの6年間にわたって、多彩な催しを展開することにより、地域の魅力や価値を向上させ、発信するとともに、集客交流の拡大をはかり、自立・持続可能な地域づくりへとつなげていく取り組みです。

当団体は、株式会社地域資源バンク NIU とパブリックハーツ株式会社とともに、11年度のファシリテーション研修を担当します。

(3) 総会・理事会の開催

11年7月30日(土)に定時総会を開催します。また、11年度も理事会を毎月開催します。

コミュニティ・ユース・バンク momo

2011 年度収支予算

収支予算書

コミュニティ・ユース・バンク momo

自 2011 年 6 月 1 日至 2012 年 5 月 31 日

(単位：円)

科目／項目	金額		摘要
I. 収入の部			
1 会費・寄付			
1) 会費収入	400,000		情報会員費 2,000 円×200 名
2) 寄付金収入	600,000	1,000,000	特定寄付金収入 250,000 円、その他寄付金収入 350,000 円
2 事業収入			
1) 審査手数料収入	90,000		審査手数料 5,000 円×18 件
2) 貸付金利息	300,000		損失準備金へ充当
3) 講座等参加費	1,050,000		
4) 物品販売	100,000		
5) その他	1,100,000	2,640,000	東海若手起業塾 400,000 円、とよた中山間じおこし隊 300,000 円、美し国おこし・三重 400,000 円
3 補助・助成金収入	8,023,333	8,023,333	あいちモリコロ基金 833,333 円、地球環境基金 3,200,000 円、国土交通省 3,990,000 円
4 雑収入	50,000	50,000	
当期収入合計(A)		11,713,333	
II. 支出の部			
1 事業費			
1) 出資金募集	30,000		
2) 融資事業	162,000		日本貸金業協会 50,000 円、全国 NPO バンク連絡会 12,000 円、旅費交通費 100,000 円
3) 講座等企画運営	7,280,000		講座等運営費 1,150,000 円あいちモリコロ基金 760,000 円、地球環境基金 1,920,000 円、国土交通省 3,450,000 円
4) その他	1,100,000	8,572,000	東海若手起業塾 400,000 円、とよた中山間じおこし隊 300,000 円、美し国おこし・三重 400,000 円
2 管理費			
1) 事務所家賃	360,000		事務所家賃 30,000 円×12 ヶ月
2) 人件費	2,100,000		週 2 日勤務(～7 月)50,000 円×2 か月、週 5 日勤務(8 月～)200,000 円×10 か月
3) 通信費	250,000		電話代、郵送費等
4) 印刷製本費	250,000		「momo 通信」印刷代等
5) 雑費	150,000	3,110,000	消耗品費等
3 予備費	0	0	
当期支出合計(B)		11,682,000	
当期収支差額(A-B)		31,333	
前期繰越金収支差額		1,759,401	
次期繰越金収支差額		1,790,734	

※11 年度中に運営資金がショートするときは、理事による劣後出資金の充当を想定しています。

一時的に資産が減ることにはなりますが、年度末には回復します。ご了承ください。